

2012年9月期 第3四半期 決算説明資料

2012年8月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

2012年9月期 第3四半期 業績(連結)

(単位：百万円)	2011年9月期 第3四半期累計期間	2012年9月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年9月期 通期業績予想
売上高	5,720	1,734	△3,985	3,560
売上総利益	3,164	1,050	△2,113	—
営業利益	1,573	△380	△1,953	80
経常利益	1,531	△314	△1,846	150
四半期(当期)純利益	1,657	△685	△2,342	280

一般的な営業・決算概況

- ✓ 事業再生案件や建設・開発資金のファイナンスアレンジへの恒常的な引合いはあるものの、大型の案件が当第3四半期中にクローズしなかったことで、業績を牽引するには至らず。
- ✓ FGIキャピタル・パートナーズは、グローバル・マクロ・ファンドが運用成績低迷により成功報酬収益が計上できず、資産運用残高(AUM)の拡大も見込めないことから、当ファンドとの投資一任契約を解除したためAUMは大幅に減少。
一方、2011年11月より提供を開始した投資運用戦略(イベント・ドリブン戦略)は運用成績が好調であり、当ファンドのAUMは漸次増加しているが、AIJ問題の影響で独立系運用会社への逆風は強い。
- ✓ パブリック・マネジメント・コンサルティングは、自治体との窓口として、再生可能エネルギー関連のファイナンスアレンジの引合いルートになっているものの、公会計事業としては黒字化に至らず。
- ✓ フィンテックアセットマネジメントは、外部投資家を招聘し有望企業・事業に投資するファンドを設立、運営する事業を新たに開始。
- ✓ 償却済債権の回収により、償却債権取立益52百万円を計上。また、長期未回収案件の回収にも成功。

セグメント別業績

単位：千円	2011年9月期 第3四半期		2012年9月期 第3四半期		増減		主な連結会社	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
1	投資銀行事業	372,422	118,539	146,137	△80,727	△226,285	△199,266	フィンテックグローバル証券 (FGS)
2	アセットマネジメント事業	360,816	22,199	172,401	△146,691	△188,415	△168,890	フィンテックアセットマネジメント (FAM) FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP)
3	プリンシパル インベストメント事業	3,805,902	1,885,708	743,203	172,436	△3,062,698	△1,713,272	フィンテックグローバル (FGI)
4	その他投資先事業	1,062,162	△4,859	738,454	215,401	△323,708	220,261	ベルス、Crane Reinsurance FinTech Gimv Fund (FGF)
5	公共財関連事業	156,794	△24,886	168,015	△76,665	11,221	△51,778	パブリック・マネジメント・ コンサルティング (PMC)
	合計	5,758,098	1,996,700	1,968,212	83,754	△3,789,886	△1,912,946	
	調整額	△37,637	△423,608	△233,378	△464,050	△195,740	△40,442	
	連結P L 計上額	5,720,461	1,573,092	1,734,834	△380,296	△3,985,626	△1,953,389	

1

FGSは事業再生案件にかかるFA業務や、中堅デベロッパーの開発型のファイナンスアレンジが収益源。第3四半期は、大型案件をリピートして受託すべく、開発型ファイナンスアレンジや再生可能エネルギー事業のファイナンスアレンジなどに営業リソースを集中的に投下するも、期中のクローズには至らず、前年同期比で減収。なお、第4四半期には、大型の開発型アレンジや再生案件受託を予定する。

2

FAMは、外部投資家を招聘し有望企業・事業に投資するファンドを設立、運営する事業を新たに開始。著名日本料理人の飲食店経営事業を統括管理する持株会社へ出資するファンドを組成し、運営を開始するとともに、当該会社及びその子会社に対し事業計画策定、経営管理業務等で支援しています。FGICPはグローバル・マクロ運用の投資一任契約の解除によりAUMが減少。新投資戦略(イベント・ドリブン戦略)のAUMは漸次増加するも、AIJ問題で新規投資に慎重な年金基金等の投資家は多い。

3

FGIは第3四半期においては、FAM組成ファンドへの投資を実行。投資回収においては、償却済の債権の回収や長期未回収の貸付案件の回収に成功。また、投資先企業に対しては経営支援により企業価値向上に努める。

4

ベルスは好調の持ち家サービス部門が全体を牽引し、計画値を上回り好調に推移。Craneは、当四半期においても新たな勘定書に基づく収益費用の認識に至らず、前期までに交付された勘定書により未経過保険料・保険金、コストを計上。FGFは、第2四半期の創業ベンチャー企業の株式売却等により、売上322百万円、営業利益227百万円を計上する。

5

総務省研究会の答申待ちである自治体が多く、契約件数が伸び悩み。他方、自治体以外で官庁会計を利用するマーケットでは順調に契約が増加し、売上を押し上げ。今後は、継続してこのマーケットでの契約を増やしつつ、新地方公会計セミナーなどを通じ潜在的なニーズの発掘に努め新規顧客獲得を目指す。さらに他システム会社との提携によるセグメント別行政コスト・自動計算ソフト「改革」の販売強化や、システムエンジニアリングの一部業務の外部委託などによる効率化を推進していく。

2012年9月期 通期連結業績予想(連結)

(単位：百万円)	2012年9月期 第3四半期累計実績(A)	2012年9月期 通期業績予想(B)	(B)-(A)
売上高	1,734	3,560	1,826
営業利益	△ 380	80	460
経常利益	△ 314	150	464
四半期(当期)純利益	△ 685	280	965

2012年9月期通期連結業績予想について

[通期業績予想に変更はありません]

上記の通り、連結業績は厳しい進捗ではありますが、当第3四半期決算発表時点においては、2011年11月14日に公表しました業績予想を修正いたしません。

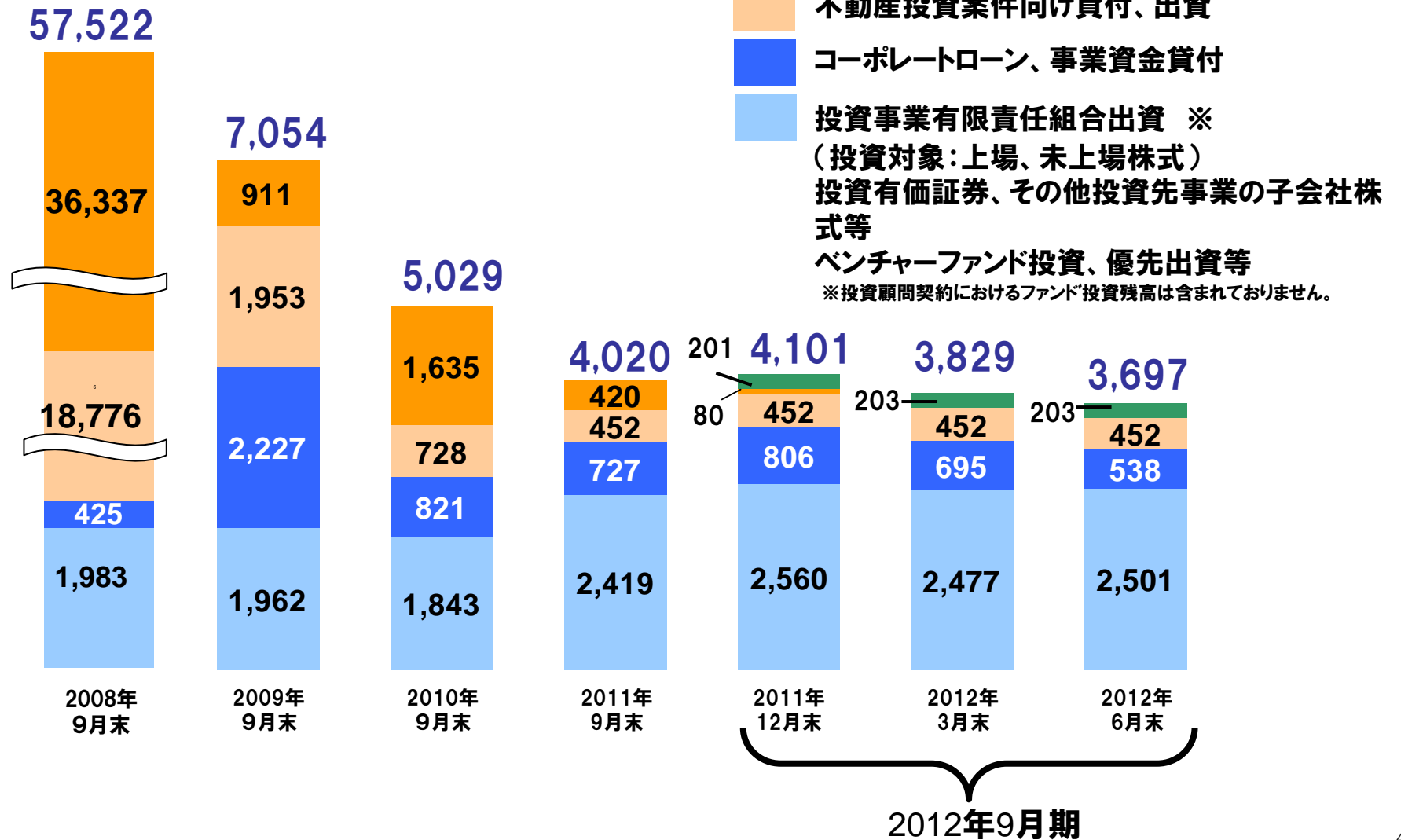
第4四半期においては、既存投資先の売却案件をはじめとして、事業再生案件のアレンジや当社グループの得意とする開発型案件のアレンジなど、複数の大型案件をそれぞれ並行して取り組んでおります。各案件の進捗の遅れにより期ずれとなる場合には、現在の予想値を下方修正する可能性があります。これらの案件が順調に進捗する場合には、予想値を上方修正することもあると考えております。このように、案件の進捗を慎重に見極めている現段階においては確定的な予測は難しく、連結業績予想は修正しないことといたしました。

また、当社グループは現在、来期以降の業績安定化のための営業基盤の強化に取り組んでおります。すでに、中堅デベロッパーの旺盛な資金需要に応える開発型ファイナンスアレンジや、再生可能エネルギー関連のファイナンスアレンジのように、継続的、連続的に引き合いが期待できる大型の案件を確保しつつあります。また、中小・中堅企業を対象にした事業継承・M&A支援などのコンサルティング業務や金融商品の販売強化にも努めております。さらに、販売チャネル及び投資家層拡大のため、中小・中堅企業のニーズを把握する会計事務所や、公会計事業を通して関係が深い地方自治体等へアプローチを開始しています。

これらの取組みにより、本来の主力事業であるファイナンスアレンジで経常的な収益を計上しつつ、年間数件の投資エグジットで収益を上乗せしていく利益構造を構築していく所存であります。

プリンシパルインベストメントのポートフォリオの推移

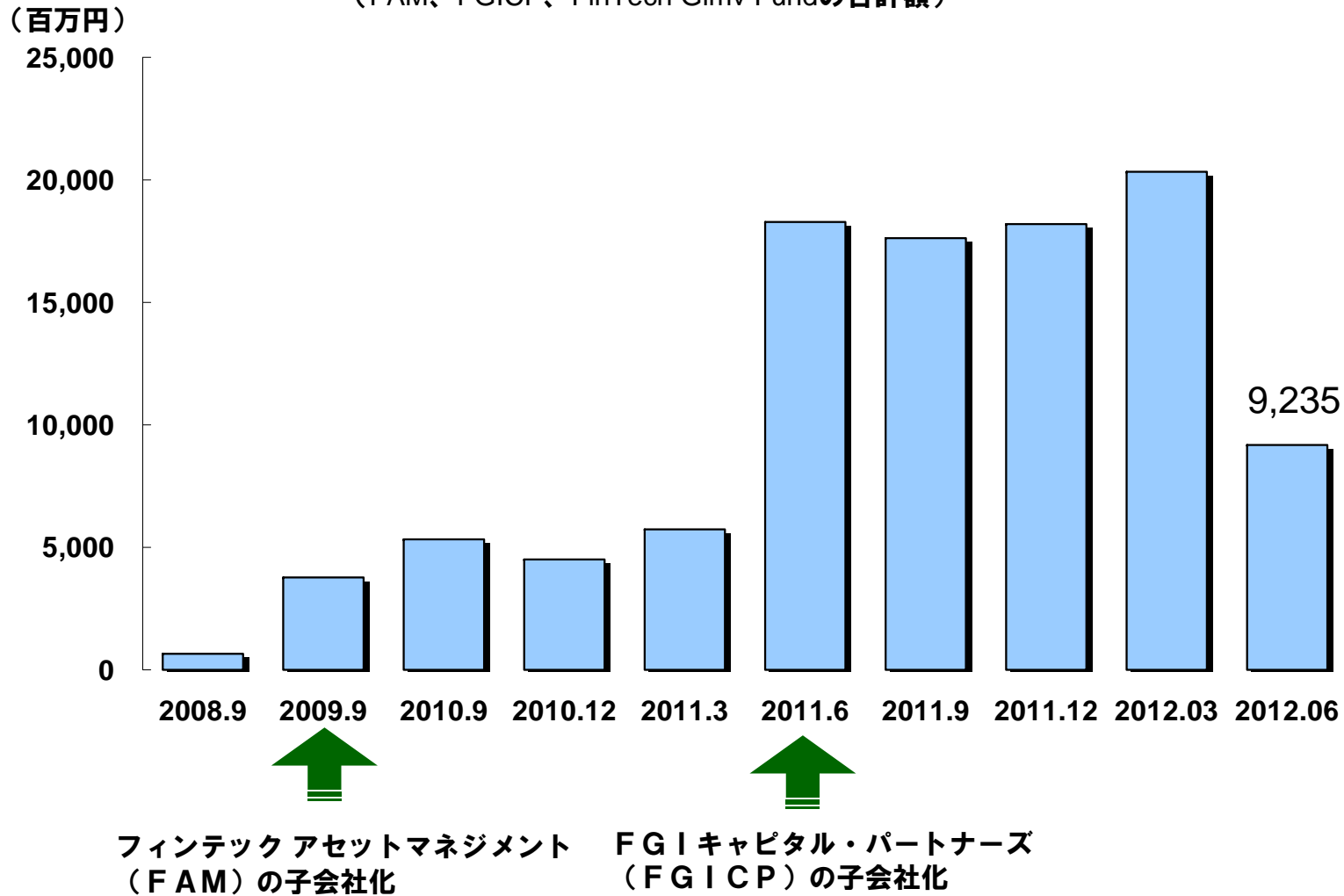
(単位：百万円、全額引当の債権を除く金額)



FGIグループの資産受託額の推移

当第3四半期は、グローバル・マクロ・ファンドの撤退により、受託額が減少

(FAM、FGICP、FinTech Gimv Fundの合計額)



連結貸借対照表

資産の部

	11年9月期	12年9月期 第3四半期	増減
流動資産	6,656,212	5,756,342	△ 899,870
現金及び預金	1,804,161	2,596,279	792,118
売掛金	125,682	146,879	21,196
1 営業投資有価証券	2,002,744	2,317,686	314,941
2 販売用不動産	420,531	—	△ 420,531
繰延税金資産	1,049	5,059	4,010
営業貸付金	2,707,235	2,536,752	△ 170,482
3 その他	1,686,260	182,230	△ 1,504,030
貸倒引当金	△ 2,091,453	△ 2,028,545	62,907
固定資産	1,026,282	721,856	△ 304,426
有形固定資産	169,408	155,901	△ 13,506
4 無形固定資産	502,844	298,460	△ 204,384
投資その他の資産	354,029	267,494	△ 86,534
資産合計	7,682,494	6,478,198	△ 1,204,296

負債の部

(単位: 千円)

	11年9月期	12年9月期 第3四半期	増減
流動負債	1,176,541	960,151	△ 216,389
短期借入金	55,000	40,000	△ 15,000
一年内返済予定の 長期借入金	81,837	2,004	△ 79,833
一年内償還予定の社債	—	16,000	16,000
預り金	490,755	715,574	224,818
その他	548,948	186,572	△ 362,375
固定負債	1,635,063	1,409,075	△ 225,987
社債	—	64,000	64,000
長期借入金	45,157	3,654	△ 41,503
繰延税金負債	74,123	79,300	5,177
退職給付引当金	86,097	95,471	9,373
5 保険契約準備金	1,286,699	1,157,180	△ 129,519
その他	142,985	9,468	△ 133,516
負債合計	2,811,604	2,369,227	△ 442,377

純資産の部

株主資本	3,936,656	3,132,180	△ 804,475
資本金	2,312,384	2,312,517	133
資本剰余金	5,183	5,183	0
6 利益剰余金	1,671,501	866,892	△ 804,609
自己株式	△ 52,412	△ 52,412	0
その他の包括利益累計額	△ 179,872	△ 126,318	53,553
その他有価証券評価差額金	△ 629	31,803	32,432
為替換算調整勘定	△ 179,243	△ 158,122	21,121
新株予約権	18,091	17,837	△ 253
少数株主持分	1,096,015	1,085,272	△ 10,743
純資産合計	4,870,890	4,108,971	△ 761,919
負債純資産合計	7,682,494	6,478,198	△ 1,204,296

1 当社グループ運用のオルタナティブ投資、及び企業投資による増加

2 投資回収による減少

3 主に前期収益計上案件の入金（2Q）及び未収保険料収入の精算（1Q）による未収入金の減少

4 F G I C Pに係るのれんの一括償却による減少（2Q）

5 期間経過に対応する保険金支払備金が増加するも、支払が確定した保険金の精算があり減少

6 四半期純損失及び利益配当による減少

連結損益計算書

	2011年9月期 第3四半期累計	2012年9月期 第3四半期累計	増減	(単位: 千円) 2011年9月期
売上高	5,720,461	1,734,834	△ 3,985,626	6,988,197
売上原価	2,556,213	683,850	△ 1,872,362	3,479,193
売上総利益	3,164,248	1,050,983	△ 2,113,264	3,509,003
販売費及び一般管理費	1 1,591,155	1,431,280	△ 159,874	2,232,314
営業利益又は営業損失(△)	1,573,092	△ 380,296	△ 1,953,388	1,276,688
営業外収益	10,120	2 72,761	62,641	13,940
営業外費用	51,649	7,194	△ 44,454	69,728
経常利益又は経常損失(△)	1,531,563	△ 314,729	△ 1,846,292	1,220,900
特別利益	421,746	1,055	△ 420,690	589,628
特別損失	291,727	3 209,344	△ 82,382	398,839
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,661,581	△ 523,019	△ 2,184,600	1,411,689
法人税等	43,945	23,479	△ 20,465	61,432
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,617,636	△ 546,498	△ 2,164,134	1,350,257
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 39,711	4 138,946	178,657	△ 53,789
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,657,347	△ 685,444	△ 2,342,791	1,404,046

1 主に、支払手数料の削減及び引当済の貸付金の回収により貸倒引当金繰入額をマイナスで計上したことによる減少

2 償却債権取立益52百万円の計上(3Q計上)

3 FGICPに係るのれん償却額126百万円(2Q計上)

4 主にFGFの少数株主利益

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 連結業績推移（6期分）
- 子会社単体業績の推移

個別貸借対照表

資産の部

	11年9月期	12年9月期 第3四半期	増減
流動資産	3,066,538	2,402,215	△ 664,322
現金及び預金	425,683	777,057	351,373
売掛金	105	6,195	6,090
営業投資有価証券	799,007	979,744	180,737
販売用不動産	284,078	—	△ 284,078
営業貸付金	2,718,194	2,547,711	△ 170,482
短期貸付金	146,127	59,614	△ 86,513
未収入金	758,545	10,687	△ 747,858
その他	35,005	49,987	14,982
貸倒引当金	△ 2,100,208	△ 2,028,782	71,426
固定資産	3,843,843	2,693,055	△ 1,150,787
有形固定資産	157,079	143,442	△ 13,637
無形固定資産	10,684	6,810	△ 3,873
投資その他の資産	3,676,079	2,542,802	△ 1,133,276
資産合計	6,910,381	5,095,271	△ 1,815,110

(単位: 千円)

負債の部

	11年9月期	12年9月期 第3四半期	増減
流動負債	2,977,952	1,771,220	△ 1,206,732
短期借入金	1,287,026	1,225,984	△ 61,041
未払金	1,155,402	36,596	△ 1,118,805
預り金	483,602	488,931	5,329
その他	51,920	19,706	△ 32,214
固定負債	38,268	31,413	△ 6,855
退職給付引当金	22,317	28,165	5,848
その他	15,951	3,247	△ 12,703
負債合計	3,016,221	1,802,633	△ 1,213,587

純資産の部

株主資本	3,876,068	3,240,345	△ 635,723
資本金	2,312,384	2,312,517	133
資本剰余金	14	14	0
利益剰余金	1,563,669	927,812	△ 635,856
評価・換算差額等	—	34,454	34,454
その他有価証券 評価差額金	—	34,454	34,454
新株予約権	18,091	17,837	△ 253
純資産合計	3,894,160	3,292,637	△ 601,522
負債純資産合計	6,910,381	5,095,271	△ 1,815,110

個別損益計算書

(単位: 千円)

	2011年9月期 第3四半期累計	2012年9月期 第3四半期累計	増減	2011年9月期
売上高	4,249,898	843,093	△ 3,406,804	4,474,381
売上原価	1,736,470	404,696	△ 1,331,773	1,840,575
売上総利益	2,513,428	438,396	△ 2,075,031	2,633,805
1 販売費及び一般管理費	1,063,576	564,198	△ 499,377	1,372,350
営業利益又は営業損失(△)	1,449,852	△ 125,802	△ 1,575,654	1,261,455
営業外収益	11,148	63,451	52,303	14,352
営業外費用	30,090	1,570	△ 28,519	30,875
経常利益又は経常損失(△)	1,430,911	△ 63,922	△ 1,494,833	1,244,931
特別利益	384,528	866	△ 383,661	496,433
特別損失	30,934	2 450,448	419,514	176,484
税引前当期(四半期)純利益 又は税引前四半期純損失(△)	1,784,504	△ 513,504	△ 2,298,008	1,564,879
法人税等	907	1,448	541	1,210
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,783,597	△ 514,952	△ 2,298,549	1,563,669

1 主に、支払手数料の削減及び引当済の貸付金の回収により貸倒引当金繰入額をマイナスで計上したことによる減少

2 FGICPの関係会社株式評価損324百万円(2Q計上)

連結業績の推移

決算年月		2007年 9月期	2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年9月期 第3四半期
売上高	(百万円)	16,914	14,165	10,385	3,465	6,988	1,734
売上総利益	(百万円)	11,432	8,314	△ 7,326	935	3,509	1,050
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	5,951	△ 9,114	△ 21,197	△ 2,604	1,220	△ 314
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	1,767	△ 7,160	△ 12,091	△ 2,172	1,404	△ 685
純資産額	(百万円)	27,191	17,426	5,447	3,164	4,870	4,108
総資産額	(百万円)	90,740	79,021	15,766	7,352	7,682	6,478
1株当たり純資産額	(円)	20,797.85	13,911.77	3,851.31	2,024.72	3,152.33	2,300.20
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	1,484.29	△ 5,937.48	△ 10,008.43	△ 1,798.88	1,168.69	△ 575.14
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	(円)	1,395.39	—	—	—	1,168.05	—
自己資本比率	(%)	27.56	21.27	29.52	33.30	48.90	46.40
自己資本利益率	(%)	7.09	△ 34.25	△ 112.68	△ 61.21	45.30	—
株価収益率	(倍)	23.78	—	—	—	2.57	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 10,000	13,155	8,333	626	1,953	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 7,150	△ 12,099	7,687	△ 2,281	△ 631	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	15,018	△ 6,743	△ 19,674	△ 3,376	△ 413	—
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	15,163	9,500	5,811	829	1,711	—
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	129(11)	112(7)	117(16)	72(13)	70(17)	63(21)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	78(8)	83(5)	50(5)	40(2)	15(2)	19(4)

子会社単体業績の推移

単位：百万円

フィンテック グローバル証券	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	第3 四半期
売上高	8	1	10	309	138	448	146
売上総利益	8	1	10	306	138	445	146
経常利益	△33	△42	△76	150	△56	93	△80

フィンテック アセット マネジメント	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	第3 四半期
売上高	33	49	83	178	166	344	91
売上総利益	33	49	83	178	119	297	91
経常利益	△0	24	24	19	△27	△8	△18

FGIキャピタル・ パートナーズ	2011年9月期 (2011年5月～9月) (注)	2012年 9月期
		第3 四半期
売上高	110	80
売上総利益	110	80
経常利益	△32	△139

(注) 2011年5月より連結業績に取り込んでおります。

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	第3 四半期
売上高	121	50	172	122	85	208	168
売上総利益	19	△55	△36	57	21	79	44
経常利益	△41	△165	△206	1	△46	△44	△77

ベルス	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	第3 四半期
売上高	254	292	546	244	274	518	413
売上総利益	198	235	433	190	232	423	352
経常利益	0	30	31	2	51	53	62

Crane Reinsurance	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	第3 四半期
売上高	444	47	492	618	789	1,408	—
売上総利益	△36	14	△21	134	18	153	6
経常利益	△39	△33	△72	125	△15	110	△12

免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2012年9月期第3四半期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実(以下、「将来情報」ということがあります)の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付(または当該資料・文書に別途明示された日付)時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

